

平成30年度学校評価（中間評価）職員による自己評価の集計結果

評価項目	平均点	回答ごとの割合					
		0	20	40	60	80	100
1 小・中・高一貫した教育課程の編成に努めているか。	3.08	10.5		86.8		2.6	
2 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」における目標設定と実践及び評価を適切に行っているか。	3.00	5.4		89.2		5.4	
3 新学習指導要領への対応に努めているか。	2.68	2.7		62.2	35.1		
4 「個別の指導計画」に基づく目標及び指導方法の共有に努めているか。	3.11	11.1		88.9		0.0	
5 P D C A サイクルを昨日かさせた指導法の工夫・改善への手立ては、具体的にとられているか。	3.11	16.2		78.4		5.4	
6 専門性の向上につながる研修を実施しているか。	3.00	5.3		89.5		5.3	
7 自立活動の充実に努めているか。	2.68	5.4		59.5	32.4		
8 I C T 機器の効果的利用をしているか。	3.08	16.2		75.7		8.1	
9 危険の防止や会費に関する意識向上に努めているか。	3.15	17.5		80.0		2.5	
10 危機管理マニュアルを基にした避難訓練（災害、緊急搜索、通学バス等）の実施と充実に努めているか。	3.30	32.5		65.0		2.5	
11 定期的な安全点検とヒヤリハットの事例の共有に努め、危険箇所へ適切に対応することができているか。	3.05	15.0		75.0		10.0	
12 家庭、学園、関係機関との連携に努めているか。	3.25	25.0		75.0		0.0	
13 児童生徒自らが自主的に活動できる機会の設定しているか。	3.10	12.5		85.0		2.5	
14 人権尊重を念頭においた児童生徒理解と適切な指導・支援を行っているか。	3.08	12.5		82.5			
15 なかようキャリアプランニングマトリックスを生かした学習指導、進路指導に取り組んでいるか。	2.92	8.1		75.7		16.2	
16 地域の特性と児童生徒の適性及び発達段階に応じた進路指導に取り組んでいるか。	3.16	18.4		78.9		2.6	
17 居住地校交流を含む交流及び共同学習は、本校及び相手校が、それぞれの目的を達成できるよう十分連携をとり、改善・工夫しながら実施できたか。	3.23	25.6		71.8		2.6	
18 巡回相談やひまわり相談室、乳幼児教育相談会等の実施を通して、特別なニーズのある幼児児童生徒の支援や保護者の相談を行っているか。	3.59	59.0			41.0	0.0	
19 教育実践の成果の発信に努めているか（HPや学校自由参観週間、研修支援、なかよう公開と研修会等）。	3.26	25.6		74.4		0.0	
20 地域の文化、自然、生活の学習化に努めているか。	2.90	10.3		69.2		20.5	
21 地域社会並びに、教育、保健、福祉、医療、労働などの関係諸機関との連携に努めているか。	3.31	30.8		69.2		0.0	
22 学校教育目標や経営方針、学部・学級経営等について、保護者への説明は分かりやすく行われているか。	3.10	17.9		74.4		7.7	
23 教育公務員として保護者や地域に信頼されるよう、服務規律の厳正確保に努めようという雰囲気は保たれているか。	3.40	40.0		60.0		0.0	
24 働きやすい職場となるように、業務の効率化を図るなどの改善・工夫を行っているか。	3.05	22.5		60.0		17.5	

有効回答数：40/40 （回答率：100.0%）

□十分達成 □概ね達成 □やや不十分 □不十分